

無料法律相談会のお知らせ

弁護士による無料の法律相談会を定期的に実施しています。ご相談は事前予約制です。医療福祉問題に限らず、ご相談が可能です。ぜひ多くの方にこの機会をご利用いただければと思います。ご相談お待ちしております。

日程	時間	担当者
2月10日(木)	13時~	深谷駅前法律事務所
3月11日(金)	13時~	一輪草法律事務所

※相談終了時間は相談希望者の人数等によって異なります。

- ◆会場…熊谷生協病院
- ◆予約…熊谷生協病院 医療福祉相談室
- ◆電話…048-524-3841 (松本・佐藤)

クリスマス会開催しました

2階療養病棟では、12月22日(水)に【クリスマス会】を行いました。普段居室で過ごすことの多い患者様方に少しでも季節を感じていただければと思い、クリスマスツリーなどでデイルームを装飾し、当日はサンタの帽子やトナカイの角をつけました。ベッドでの参加者を含め、18名の方が参加されました。クリスマスの歌を唄い、職員手作りのカードをプレゼントしました。記念撮影時には感極まって涙を流される患者様や、満面の笑みで記念撮影される方など職員も楽しい会になりました。

コロナ禍で面会制限がある中ではありますが、おたより等でご家族様にも様子をお伝えしていけたらと考えております。今後も他職種で協力し合い楽しい療養生活になるよう努めていきたいと思っております。

(介護福祉士：三浦 めぐみ)



2月 外来診療のご案内 電話(総合案内) 048-524-3841

訪問診療は随時行っております。詳しくは病院までお問い合わせください。



発熱やカゼ症状等のある患者様は、感染対策のため一般外来と時間・場所を分けて診療していますので、必ず事前に電話でご連絡頂きますようお願いいたします。

受付時間	月	火	水	木	金	土	
内 科	午前(8:15~11:30)	宮岡 須田	鶯塚 青木 田中	鶯塚 遠井	宮岡 鶯塚 岡本 杵淵 奥山	古市 田中	担当医 新井 (てんかん外来 第4)
	午後(14:00~16:00) ※第2、3水曜日は 14時00分~15時00分	須田	(※急患外来) (発熱外来)	(※急患外来) (発熱外来)	杵淵 (発熱外来)	(発熱外来)	
専門 外来	午後(14:00~16:00)	鶯塚 (頭痛・めまい 外来)	新井 (てんかん外来 第4)	鶯塚 (もの忘れ・ 小刻み歩行外来)	岡本 (糖尿病外来)		
小 児 科	午前(8:15~11:30)	小堀	新井	遠井	荒熊	小堀	小堀
	午後(13:30~16:00)	休診 予防注射 (14:00~ 15:00) 乳児健診 (第4)	休診	休診	休診 アレルギー 外来 (第4)	休診	1歳6ヶ月 健診 (予約制) 3歳児健診 (予約制)
胃カ メラ	午前		○	○	○	○	

※担当医師は都合により変更することがあります。ご了承下さい。

当院は予約優先となっております。予約なしの受診を希望される方は、来院前にご連絡下さるようお願い申し上げます。

●休診日/日曜日・祝祭日・土曜日午後

内科 休診案内
2/2(水)…遠井医師 休診

※急患外来

定期通院の方が予約をする外来ではなく、当日具合が悪い方などを診療いたします。受診される方は、必ず事前にご連絡いただきますようお願い申し上げます。

2022年、笑顔ではじまる健康づくり……………

ほほえみ

第347号

2
月号

<http://www.kumagaya-hospital.coop/>

病院理念 県北地域に安心と協同の創造を

いついかなる時も利用者の権利を尊重し、そのニーズにふさわしいサービスを、保健・医療・福祉の事業を通して、誠実に提供します。

- 医療生協さいたま 熊谷生協病院
診察・訪問診療・健診・デイケアのことは、お気軽にご相談ください。
048-524-3841
- 医療生協さいたま 熊谷生協ケアセンター
介護のことは、お気軽にご相談ください。
048-524-0030
- 発行 熊谷生協病院広報委員会
住所 〒360-0012 埼玉県熊谷市上之3854



院長：小堀 勝充

ACP (Advance Care Planning) =人生会議ってなんだ?

皆さんは、ACPあるいは人生会議という言葉を知っていますか？人生100年時代と言われるようになり、「元気で長生き」「最期はピンピン

コロリ」なんていう話をすることがあるかもしれません。でも、人生の最期をどうするかなんて考えるのは嫌だし、今は元気だし、多少の病気はあってもちゃんと通院してお薬を飲んでいるのでまだまだ先のことを考えている人が多いと思います。でもちょっと想像してみてください。もし、事故や脳卒中、心筋梗塞で急に倒れて苦しみながら治療を受けている時に、「最期はどんな治療を受けたいですか？あるいはどんな治療は受けたくないですか？」などと聞かれても答えようがないですね。なので、元気な時に自分の人生の幕引きをどうしたいか、最期の花道をどう飾りたいかを考えて、ご家族と話し合いをしておくことが大切です。最期の自分の状態がどうなるのかは分からない色々な状況を想定してみないといけないので、かかりつけ医や看護・介護スタッフと相談してみることも必要でしょう。相談できる人がいない時は、医療生協さいたまの組合員や熊谷生協病院の地域総合サポートセンターに相談してみましよう。もし、最近身近で亡くなられた方がいらしたら、その方の人生や最期の迎え方について話してみましよう。あるいは著名人が亡くなられたニュースを見たり聞いたりした時に話してみてもよいでしょう。

まずは、どこで最期を過ごしたいのか、自宅？病院？施設？から考えてみましょう。次に誰と過ごしたいか、さらに口から食べられなくなったら点滴はどうしようか、胃ろうはどうしようか、本当に最期の時に人工呼吸器はどうしようか心臓マッサージはどうしようかなど疑問や不安がたくさん出てきます。一人で考えていると嫌になるので、ご家族や親しい友人と話した方が色々な考え方を聞けるのでよいでしょう。それでも疑問や不安があれば熊谷生協病院の地域総合サポートセンターに相談してください。我々医療スタッフが出前講座を開いて皆さんと膝を突き合わせて相談に乗ることもできます。

ところで先ほど著名人の訃報に触れた時を話し合うきっかけにしてみましたと言いましたが、芸能人やスポーツ選手が亡くなると活躍していた時の映像が流れますし、学者や文筆家が亡くなるとその業績が取り上げられることが多いと思います。人が最期を迎えると残された人たちは大抵その人の人生や業績を振り返って思い出話をして懐かしみます。私たちは芸能人でもスポーツ選手でも学者でも文筆家でもなく、いわゆる著名人ではないと思いますが、それでも色々な山あり谷ありの人生を経験してきています。私は10か月の赤ちゃんから100歳を超えるたくさんの方々を自宅で見取ってきました。その人なり、その家族なりの素晴らしい物語がありました。



2面につづきます

1面のつづき

最期の時を迎えるにあたって考えるのは、その人の生きてきた人生物語です。自分の最期を考えるということは自分の人生を考えることです。

こんな人生になるはずじゃなかったとか、満足できる人生だったとか、色々な思いがあると思います。まだまだ元気でいられるなら、やり残したこと、やっておきたいことをやりましょう。そして自分が生きてきた証を何か残せるように最期の時まで残された時間を楽しみましょう。

私が看取ってきた方々の中で、中学生で不治の病が見つかり、高校時代は検査と治療に明け暮れ、高校生活最後で治療が終了し、緩和ケア目的で私が往診を開始した人がいました。もう治療ができないことも残された時間が短いことも知っていました。それでも最期まで勉強することを諦めず一人でも多くの友人を作りたいと大学に入学して、毎日自宅で点滴をしながら大学に通学していました。亡くなる2週間前まで通学し、常に前を向き未来を信じて生きていました。



人生は長い人も短い人もいます。でも、今生きていることは間違いありません。今日生きていることに感謝し、残された人生を楽しみ、そして最期の花道をどう作り上げるのか考え始めましょう。困ったり悩んだりすることがあれば、医療生協さいたまの組合員や熊谷生協病院のスタッフに声をかけてください。



くまのまち 組合員活動ニュース

熊谷生協病院
地域総合サポートセンター
くまのまち



フードドライブにご協力ください にご家庭に余っている食品・食材をご寄付ください。

フードドライブとは、ご家庭にある食品や食材を学校や職場・グループなどで集めて、フードバンクに寄付する運動です。賞味期限が近づいた食品や、品質には問題ないけれど、破棄されてしまう食品・食材を引き取り、生活困窮者や被災地、団体などへ無償で提供する活動です。ご家庭で少し余分にある食品をお裾分けすることで、食べ物に困っている人をサポートできるので、どなたでも気軽に参加することができます。

ご寄付いただきたい食品

カップめん・カップ焼きそば、保存食品(缶詰)、レトルト食品・インスタント食品(カレー等)、栄養補助食品(カロリーメイト等)、穀類(麺類・クラッカー・お米など)、調味料(めんつゆなど)、飲料(ジュース・お茶・スポーツドリンク等ペットボトル)、お菓子・ゼリー



☆ご注意いただきたいこと☆

- ①賞味期限が明記され、かつ2ヶ月程度あるもの
- ②常温で保存が可能なもの
- ③未開封のもの
- ④お米は平成30年産以降のもの

持ち込み先: ●熊谷生協病院(熊谷市上之3854) ●生協介護センターこだま(児玉郡上里町七本木3556-4)

◇お問い合わせ先◇ 熊谷生協病院 地域総合サポートセンター まちづくりネットワーク推進課 曾田(そた)070-2154-7357 岸本070-2154-7358



応援ランチ ありがとうございました

12月23日に組合員さんから医療・介護従事者へ175食のカレーライス弁当を提供して

頂きました。本当にありがとうございました。以下、職員からお礼のメッセージです。



●大変元気の出るカレーライスありがとうございました。実は、夜に協同病院で会議がありいつもは空腹で参加するのですが、カレーライスを夕方食べてから会議に参加しました。しっかり会議に参加できました。元気100倍でした♪(院長)



●カレーライス美味しく頂きました。ありがとうございました!(3階病棟職員一同)

●温かい心のこもったカレーライス美味しかったです!ありがとうございました。(放射線科)

●とてもおいしかったです! 組合員さんたちの笑顔にも癒やされました。ありがとうございました。(薬剤科)

●ごちそうさまでした。本当に美味しかったです。小多機の職員全員が喜んでいました。日頃、組合員さんに支えられていることを実感しました。感謝です!! ありがとうございました。(熊谷CC小多機)

※写真撮影時のみマスクを外しています

熊谷生協ケアセンターだより 介護のご相談窓口 電話 048-524-0030

「事例検討学習会を行いました」

12月21日に「病棟リハビリと訪問リハビリでの連携強化」と題し、熊谷生協病院のリハビリスタッフと訪問看護ステーションのリハビリスタッフで事例検討学習会を行いました。リハビリスタッフの他、院内および訪問の看護師も参加し、在宅生活の問題を明確化して情報交換・情報共有を行うことの大切さについて学びました。

院内と訪問との連携を強化し、途切れのない支援を提供していくためにも、今後も学習会を継続して行っていきたいと思います。



「忘年会を行いました」



12月29日に熊谷生協ケアセンター内で感染対策に留意しながら忘年会を行いました。今年度入職した職員の挨拶や所長・各部門管理者による今年度の振り返りを行い、その後にビンゴ大会を行いました。美味しいお弁当とデザートに舌鼓を打ちながら、景品ゲットを目指してみんなで静かに闘志を燃やしました。

●熊谷生協ケアセンター【ケアプラン作成・訪問ヘルパー・訪問看護・小規模多機能くまここ】〒360-0012 熊谷市上之3851-1 (介護複合施設くまここ内) TEL:048-524-0030 FAX:048-524-9667

